

050IP電話

ver 1.0.0

操作マニュアル for Android

第1.0.0版

2015年8月

目次

基本画面 P.3

- 発信画面
- 発信中画面
- 着信中画面

電話をかける P.7

- 電話をかける
- 電話帳から電話をかける
- お気に入りから電話をかける
- 無料通話先050番号判別機能

電話帳機能 P.13

- 電話帳を開く
- 新しいグループを作成する
- グループを編集する

お気に入り機能 P.19

- お気に入りに連絡先を登録する
- お気に入りに登録されている連絡先を削除する

履歴 P.22

- 発信履歴一覧とコンテキストメニュー
- 発信履歴項目
- 発信履歴詳細
- 着信履歴一覧とコンテキストメニュー
- 着信履歴項目
- 着信履歴詳細
- 着信履歴

Bluetoothでの通話 P.29

- 事前準備
- Bluetooth機器を用いた通話

各種設定 P.32

- ステータスバーの説明
- 設定一覧から各種情報を確認・変更する
- 設定一覧画面各ボタン機能紹介
- アプリの設定画面各ボタン機能紹介
- 050番号の発信者番号の通知/非通知を設定する
- アプリの着信音を変更する
- 050IP電話の通話音量を設定する
- 高度な設定画面各ボタン機能紹介
- 標準電話アプリからの発信動作を設定する
- キーパッド背景を変更する
- テストコールする
- アカウント設定する
- 050番号を確認する
- バージョン情報を確認する
- アプリを終了する
- デフォルトの通話アプリを設定する
- アプリをアンインストールする

通話不可状態からの 手動回復機能 P.53

- 復旧方法

接続状態測定 P.56

- 自動モニタリング
- 手動モニタリング
- 通話中モニタリング

制約事項 P.60

- 制約事項
- Bluetooth利用時の注意事項

基本画面

基本画面

発信画面



	機能名	機能説明
1	電話番号表示欄	入力した電話番号を表示します。
2	発信先件名	電話番号欄に対応する発信先名称を表示します。
3	12キーボタン	電話番号を入力するためのキーボードです。「0」キーの長押しにより「+」が入力されます。
4	携帯電話モードボタン	標準携帯電話アプリから発信を行います。
5	IP電話発信ボタン	IP電話発信を行います。
6	Deleteボタン	入力した電話番号を削除します。短押しすると末尾の一字を削除、長押しで入力全て削除します。
7	電話帳登録ボタン	電話番号欄に表示している電話番号を連絡先に登録することができます。

基本画面

発信中画面

発信方法は、本マニュアルの「電話をかける」(P.8)をご覧ください。



	機能名	機能説明
1	発信先電話番号	発信先の電話番号を表示します。
2	発信先件名	発信先電話番号に対応する発信先名称を表示します。
3	登録画像	発信先電話番号に対応する画像を表示します。登録画像が存在しない場合、デフォルトの画像を表示します。
4	発信終了ボタン	発信処理を終了させ、終了画面に移ります。
5	キーパッドボタン	キーパッド画面を表示します。
6	スピーカーボタン	スピーカーから音声を再生させます。
7	ミュートボタン	送信音声を消音します。
8	保留ボタン	通話を保留します。
9	Bluetooth	Bluetoothヘッドセットから音声を出力します。
10	ステータス欄	「発信中」と表示します。

基本画面

着信中画面



	機能名	機能説明
①	相手先電話番号	相手先の電話番号を表示します。
②	相手先件名	相手先電話番号に対応する相手先名称を表示します。
③	登録画像	相手先電話番号に対応する画像を表示します。登録画像が存在しない場合、デフォルトの画像を表示します。
④	応答ボタン	着信に応答します。
⑤	拒否ボタン	着信を拒否させ、前画面に移ります。
⑥	ステータス欄	「着信中」と表示します。

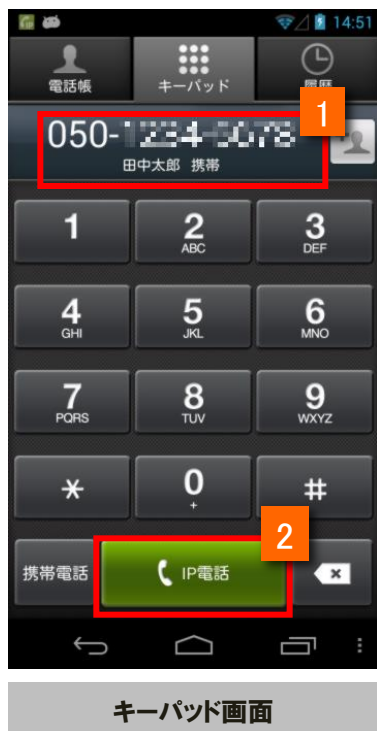
電話をかける

(IP電話モードで発信する)

電話をかける (IP電話モードで発信する)

電話をかける

キーパッドを利用して電話をかける相手の電話番号を入力します




▼通話相手の指定方法

- ①キーパッドからダイヤルボタンをタップして相手の電話番号を入力する
- ②「お気に入り」から連絡先を指定する (P.11)
- ③「電話帳機能」から連絡先を指定する (P.10)
- ④「発着信履歴」から連絡先を指定する




1

ホーム画面上の  をタップし、ダイヤルボタンをタップして相手先の電話番号を入力します

※番号を間違えた場合 : Deleteキー  で間違えた番号を削除してください

※携帯電話の標準のキーパッドに相手先の電話番号を入力して[発信]をタップし、発信アプリ選択画面で[050IP電話]をタップしても、ダイヤルボタンの画面に移ります。相手先の番号は既に入力されていますので、[IP電話]をタップすれば電話がかかります。

2

 IP電話 をタップします (電話がかかります)

※ご注意

[携帯電話]ボタンをタップすると端末の携帯番号からの発信となります。

電話をかける (IP電話モードで発信する)

3

通話が終わったら、 をタップします (通話が終了します)



各ボタンの機能

1	 キーパッド	キーパッドを表示する
2	 スピーカー	スピーカーから音声を出力する
3	 ミュート	音声を消音する
4	 保留	通話を保留する
5	 Bluetooth	Bluetoothヘッドセットから音声を出力する。 【対応規格】 AndroidOS: 4.4以上 Bluetoothバージョン: 2.0+EDR 以上 プロファイル: HSP対応 (※Bluetoothの利用については、 P.30-、P.31をご確認ください)

電話をかける (IP電話モードで発信する)

電話帳から電話をかける

電話帳から電話をかける相手の電話番号を選択します





キーパッド画面

電話帳画面

キーパッド画面

1

ホーム画面上の  をタップ→電話帳ボタン  をタップすると電話帳が表示されます

2


電話帳画面から電話をかける相手をタップします
※1つの連絡先に複数の電話番号が登録されている場合は、発信する電話番号をもう一度指定する必要があります

3

連絡先情報画面に遷移しますので、画面内の発信ボタンをタップします。

4

キーパッド画面に通話相手の電話番号が正しく表示されていることを確認し、

 をタップします (電話がかかります)

電話をかける (IP電話モードで発信する)

お気に入りから電話をかける

電話をかける相手の電話帳をお気に入りから呼び出し、簡単に電話をかけることができます



1

電話帳ボタン



をタップして、その中のお気に入りタブボタン

お気に入り

をタップします

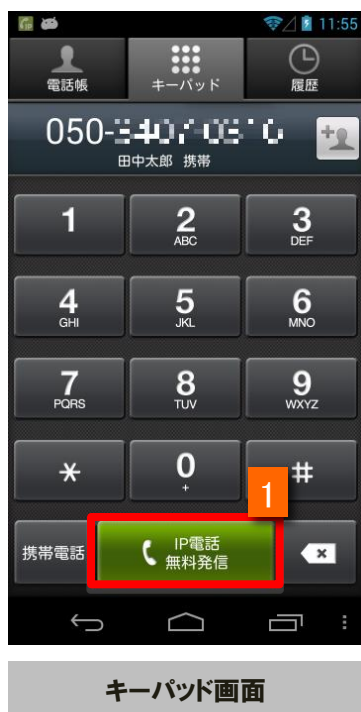
2




登録されている連絡先をタップすると発信画面に遷移し、発信を開始します

電話をかける(IP電話モードで発信する)

無料通話先050番号判別機能

「050 plus」やOCNドットフォン、無料通話先プロバイダが提供するIP電話に発信する際は番号を判別して表示します



- 1 ホーム画面上の  をタップして、無料通話先050番号を入力されるとIP電話ボタン  が  となり、無料通話先050番号の判別ができます。

■注意点



- ・ひかりラインなど、050から始まらない電話番号については無料通話対象であっても、本機能による表示は行いません(実際の通話は無料になります)

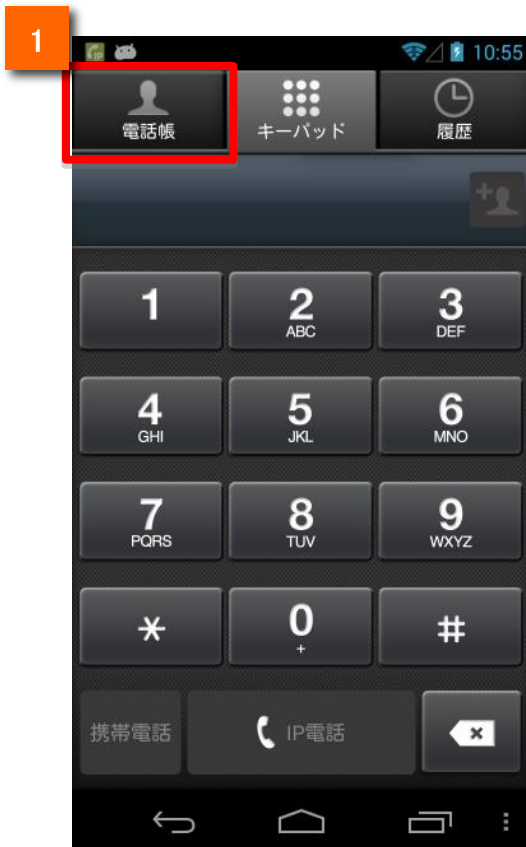
電話帳機能

電話帳機能

電話帳を開く

電話帳機能のメニューを活用することで「新しいグループの作成」や「グループ編集」などが行えます

- 1 ホーム画面上の  をタップして、電話帳ボタン  をタップすると登録されている電話帳の一覧が表示されます



キーボード画面



電話帳画面

電話帳機能

2

電話帳画面の **グループ** をタップすると電話帳のグループ一覧が表示されます

※グループ一覧画面では、すでに登録済の電話帳の一覧を表示したり、新たな電話帳を登録することができます



電話帳(グループ一覧)画面



電話帳の設定メニュー

※自分で作成したグループを選択している場合の表示例

機能紹介

1	全て (51)	全ての連絡先一覧が表示されます ※()内は登録されている数
2	未登録 (5)	他グループに登録されていないメンバーの一覧が表示されます

※選択したボタンにより、表示される項目が変わります

機能紹介

3		Android端末のメニューキー。電話帳の設定メニューが表示されます。※ご使用のAndroid端末の環境により異なります。
4	 グループの追加	新しいグループを追加登録します 「新しいグループを作成する」(P.16)へ
5	 グループの編集	登録済みのグループについて、名称や登録メンバーの変更ができます
6	 グループの削除	登録済みのグループを削除します ※グループに登録されているメンバーは削除されません
7	 その他	メニュー画面に表示しきれなかった以下の2つのメニューを表示します。
8	色の変更	グループの色変更が設定できます
9	連絡先の追加	新規連絡先を登録します

電話帳機能

新しいグループを作成する

電話帳をグループ分けをすることによって、電話帳の情報整理・活用が行なえます

1 電話帳画面で **グループ** をタップします



電話帳画面

2 グループ一覧画面でAndroid端末のメニューキーをタップします



※メニューキーは端末により異なります。

グループ一覧画面

3 グループの追加ボタンをタップします



グループ一覧画面

4 【4-1】今回追加するグループの名前を入力します
【4-2】グループのメンバーに登録する連絡先をタップし、「」マークが表示されたことを確認します
【4-3】左下の「作成」ボタンをタップして完了です

4-1



4-2



4-3



新規グループ設定画面

電話帳機能

グループを編集する

グループの編集や削除を行うことができます

1 電話帳画面で **グループ** をタップします

2 編集したいグループを指定します



電話帳画面



グループ一覧画面

電話帳機能

3

Android端末のメニューキーを押しグループの編集メニューを表示させます。



機能紹介

1		新しいグループを追加します
2		グループ名を変更します
3		グループを削除します
4		メニュー画面に表示しきれなかった以下の2つのメニューを表示します
5	色の変更	グループボタンの色設定をします
6	連絡先の追加	新しい連絡先を追加します

※本アプリケーションでは電話帳、グループ情報は端末の標準データをそのまま使用します。Googleアカウント(Gmail等)以外のデータを使用した場合グループの追加やグループの編集が一部正常に動作しない場合があります。

お気に入り機能

お気に入り機能

お気に入りに連絡先を登録する

よく電話をかける連絡先をお気に入りに登録することで、簡単に電話をかけることができます



1

電話帳



をタップして登録したい連絡先

1

をタップします

2

「連絡先情報」の



をタップしてお気に入りに登録したい連絡先を登録します

3

連絡先に複数の電話番号が登録されている場合は、登録したい電話番号を複数選んでタップしてください

お気に入り機能


お気に入りに登録されている連絡先を削除する

お気に入りに登録されている連絡先を削除することができます




1

電話帳のお気に入りボタン **お気に入り** をタップして

連絡先名称の右側の詳細ボタン  をタップします

2

お気に入りから削除したい連絡先の  をタップします

3

お気に入りから連絡先が削除されます

※「お気に入り」の登録から削除されますが、「電話帳」の登録は削除されません

履歷

発信履歴

発信履歴一覧とコンテキストメニュー



1 履歴一覧画面で履歴項目を長押しするとコンテキストメニューを表示します。

機能紹介

1	タブバー	本画面では常に「履歴」が選択状態となります。
2	履歴選択ボタン	本画面では常に「発信履歴」が選択状態となります。「着信履歴」ボタンをタッチすると、着信履歴画面に遷移します。
3	日付バー	直近の着信履歴が先頭になるよう表示されます。当日は「今日」、1日前は「昨日」、それ以前は、「年/月/日」で表示されます。
4	履歴項目	1件分の着信履歴です。短押しで「履歴情報画面」に遷移し、長押しで「コンテキストメニュー」を表示します。
5	名前(コンテキストメニュー)	発信相手先名を表示します。
6	コールバック(コンテキストメニュー)	表示相手先へコールバックします。
7	履歴から削除(コンテキストメニュー)	本履歴を削除します。


発信履歴

発信履歴項目

発信履歴項目についての説明です。



機能紹介

1	発信先情報	通話相手の情報を表示します。
2	発信先画像	通話相手情報の連絡先に登録されている画像が表示されます。登録画像が存在しない場合は、デフォルト画像を表示します。
3	発信時刻	発信した時刻を表示します。
4	状態アイコン	発信状態を以下のアイコンで表示します。
		発信履歴では常にこのアイコンが表示されます。
5	登録ラベル	通話相手情報の電話番号に付けられているラベルを表示します。該当するラベルが存在しない場合は「不明」と表示されます。
6	発信先番号	通話相手の電話番号を表示します。

発信履歴

発信履歴詳細



1 履歴一覧画面で履歴項目をタップすると履歴詳細画面を表示します。

機能紹介

1	相手先名	発信番号が電話帳に登録されている場合に表示します。
2	発信番号	発信番号を表示します。
3	発信日時	発信した日時を表示します。
4	通話時間	通話時間を表示します。
5	発信先画像	電話帳に相手画像が登録されている場合に表示されます。
6	登録ラベル(電話番号)	電話帳に着信番号の登録がある場合、その番号の登録ラベルを表示します。該当ラベルが存在しない場合「不明」を表示します。
7	状態アイコン	発信履歴アイコンが表示されます。
8	期間アイコン	通話時間アイコンが表示されます。
9	発信ラベル	発信番号に対しては、[<⑥登録ラベル>にリダイヤル]を表示します。同じ連絡先の別の電話番号では[<⑥登録ラベル>に発信]と表示します。
10	発信番号	発信番号を表示します。
11	発信ボタン	タップするとキーパッド画面に⑨の番号入力され、発信可状態となります。

着信履歴

着信履歴一覧とコンテキストメニュー



1 履歴一覧画面で履歴項目を長押しするとコンテキストメニューを表示します。

機能紹介

1	タブバー	本画面では常に「履歴」が選択状態となります。
2	履歴選択ボタン	本画面では常に「着信履歴」が選択状態となります。「発信履歴」ボタンをタッチすると、発信履歴画面に遷移します。
3	日付バー	直近の着信履歴が先頭になるよう表示されます。当日は「今日」、1日前は「昨日」、それ以前は、「年/月/日」で表示されます。
4	履歴項目	1件分の着信履歴です。短押しで「着信履歴詳細画面」に遷移し、長押しで「コンテキストメニュー」を表示します。
5	相手名(コンテキストメニュー)	着信番号が電話帳の連絡先に登録があれば相手名が表示されます。
6	コールバック(コンテキストメニュー)	着信番号にコールバックします。
7	履歴から削除(コンテキストメニュー)	長押しした履歴を削除します。

着信履歴

着信履歴項目

着信履歴項目についての説明です。



機能紹介

機能紹介		
1	発信者情報	発信者を表示します。非通知発信の場合は「非通知」と表示されます。不在着信時は、文字がピンク色となります。
2	発信者画像	発信者情報の連絡先に登録されている画像が表示されます。登録画像が存在しない場合は、デフォルト画像を表示します。
3	着信時刻	着信した時刻を表示します。
4	状態アイコン	 着信を受信した場合
		 不在着信の場合
		 不在着信に対して折り返し発信した場合
5	登録ラベル	発信者情報の電話番号に付けられているラベルを表示します。該当するラベルが存在しない場合は「不明」と表示されます。不在着信時、文字がピンク色となります。
6	発信者番号	発信者の電話番号を表示します。
7	期間アイコン	不在着信の場合、以下のアイコンで表示します。
		 不在着信の場合
		アイコンなし 通常着信の場合、不在着信に対して折り返し発信した場合
8	呼び出し期間	不在着信時の呼び出し秒数を表示します。期間アイコンが非表示の場合空白となります。

着信履歴

着信履歴詳細



1 履歴一覧画面で履歴項目をタップすると履歴詳細画面を表示します。

機能紹介

1	相手先名	着信番号が電話帳に登録されている場合に表示します。
2	着信番号	着信番号を表示します。
3	着信日時	着信した日時を表示します。
4	通話時間	通話時間を表示します。
5	着信先画像	電話帳に相手画像が登録されている場合に表示されます。
6	登録ラベル(電話番号)	電話帳に着信番号の登録がある場合、その番号の登録ラベルを表示します。該当ラベルが存在しない場合「不明」を表示します。
7	状態アイコン	着信応答した場合 、不在着信の場合 を表示します。不在着信に対して折り返し発信した場合、 を表示します。
8	期間アイコン	通話した場合 、不在着信の場合 を表示します。不在着信に対して折り返し発信した場合は表示されません。
9	着信ラベル	着信番号に対しては、[<⑥登録ラベル>に折り返し発信]を表示します。同じ連絡先の別の電話番号には[<⑥登録ラベル>に発信]と表示します。
10	発信番号	発信番号を表示します。
11	発信ボタン	タップするとキーパッド画面に⑨の番号が入力され、発信可状態となります。
12	連絡先に登録ボタン	電話帳に未登録の番号のときのみ表示され、タップすると連絡先新規登録画面に遷移します。

Bluetoothでの通話

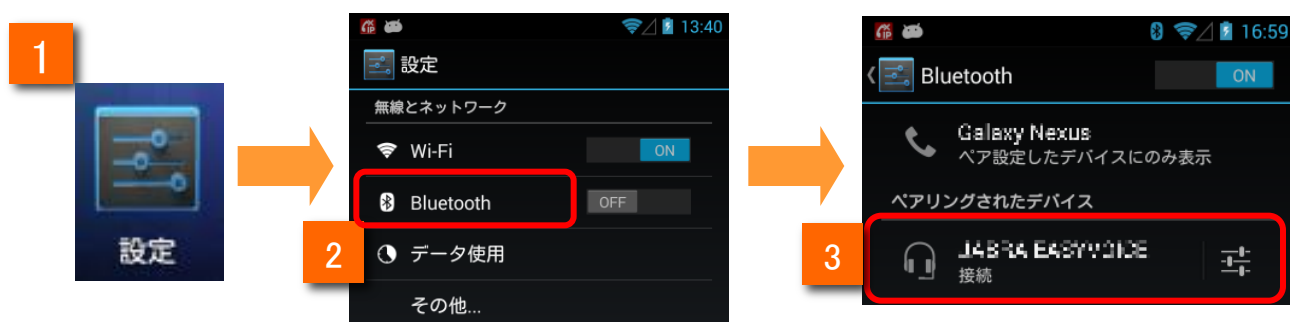
Bluetoothでの通話

事前準備

Android端末のBluetooth機能をONにしてください。

ご利用になるBluetooth機器をAndroid端末へ登録(ペアリング)してください。
ペアリングの方法については各機種ごとに異なりますので、ご不明な場合はAndroid端末や、Bluetooth機器の取扱説明書等をご確認ください。

Bluetooth機器とのペアリング状態がご不明な場合は、下記手順にてご確認ください。
(Android端末によって、若干画面遷移は異なります。)



1 ホーム画面上で、 [設定]ボタンをタップします。

2 「Bluetooth」設定をタップします。

3 使用するBluetooth機器が「接続」済みになっていることをご確認ください。

※本アプリは、HSPプロファイルのみに対応しています。
ペアリングが成功しても、Bluetooth機器側がHSPプロファイルに対応していない場合はご利用ができません。アプリのBluetooth ボタンは、P.31の(参考)の状態となります。



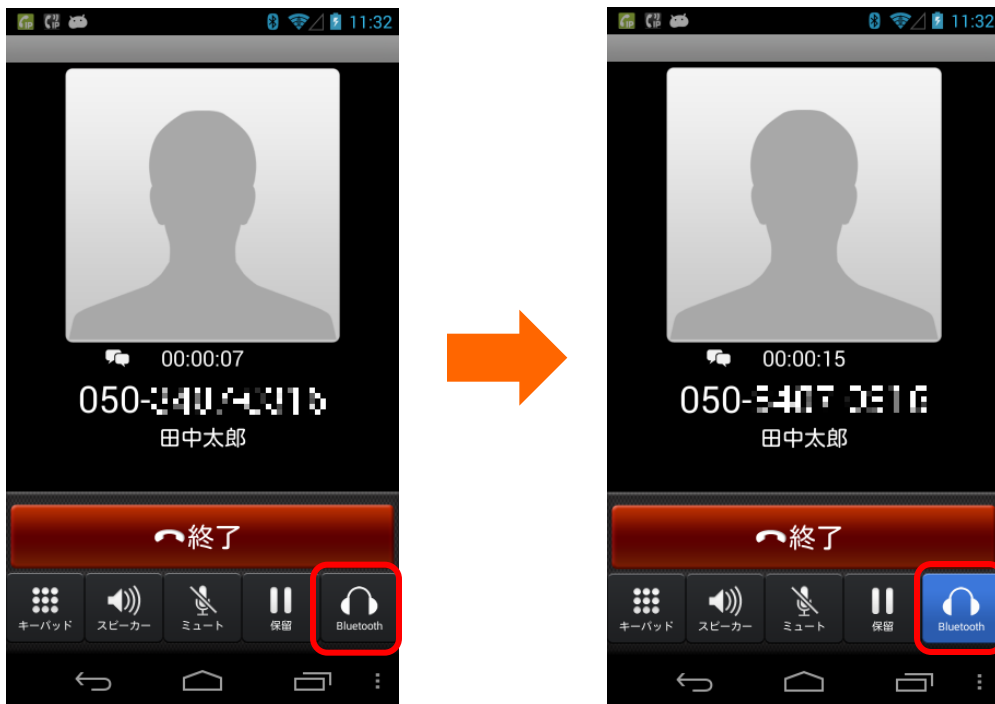
その他、Bluetooth利用に関する注意事項については、P.62をご確認ください。

Bluetoothでの通話

Bluetooth機器を用いた通話

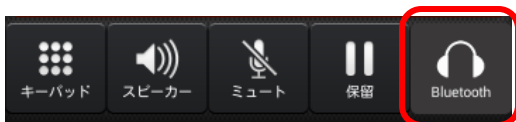
ご利用になるBluetooth機器の電源を入れ、Android端末との接続が行われた状態で050IP電話での発着信をお試してください。

■ Bluetooth機器との接続が成功している場合



Bluetoothボタンをタップし、ボタンが水色に変わりますとBluetooth機器を利用した通話が可能です。
※Android端末のマイク/スピーカー、ヘッドセット(有線)等での通話に戻したい場合は再度Bluetoothボタンをタップしてください。

■ (参考) Bluetooth機器との接続が成功していない場合



Bluetoothボタンをタップしても水色に変わらない場合は、Bluetooth機器が未登録、もしくは接続されていない可能性があります。P.30の手順にて、Android端末とBluetooth機器が接続状態になっているかをご確認ください。

各種設定

各種設定

ステータスバーの説明

1 050IP電話のIP電話の状態を表します。



アイコン	説明
	通話可能な状態です。
	通話するためネットワークに接続中です。
	接続状態が不安定です。
	通話不可状態です。 (設定が誤っています。) ※ この状態のときは発信ボタンがタップできません。
	圏外状態です。 (ネットワークが繋がっていない状態です。) ※ この状態のときは発信ボタンがタップできません。
	通話中状態です。
	通話中の保留状態です。
	新着の不在着信が存在することを表しています。 複数の不在着信がある場合、本アイコン上に不在着信の数が表示されます。新着の不在着信がある場合、本アイコンはステータス表示域に追加されます。 履歴を参照すると本アイコンは消去されます。

各種設定

設定一覧から各種情報を確認・変更する

1



2



1

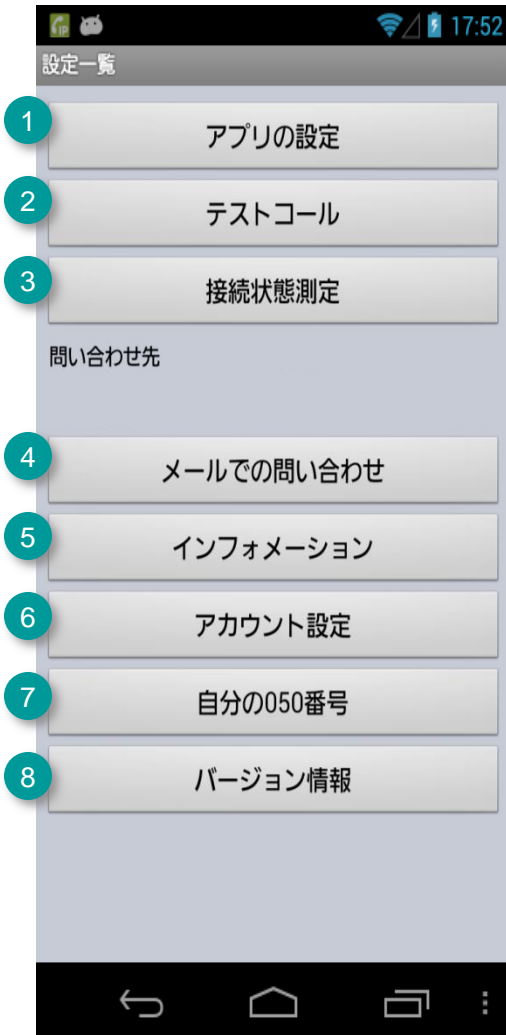
ホーム画面上の  をタップします。

2

端末のメニューキーをタップ、メニューから「設定」をタップすると、一覧画面から各種メニューを確認できます。

各種設定

設定一覧画面各ボタン機能紹介



機能紹介

1	アプリの設定	アプリの設定画面に移ります。	P.36
2	テストコール	テストコール開始画面に移ります。	P.44
3	接続状態測定	ネットワークの接続状態測定画面に移ります。	P.58
4	メールでの問い合わせ先	問い合わせ先へのメール作成画面に移ります。	—
5	インフォメーション	本アプリについてのWEBページ画面に移ります。	—
6	アカウント設定	アカウント設定画面に移ります。	P.45
7	自分の050番号	050番号表示画面に移ります。	P.47
8	バージョン情報	バージョン情報画面に移ります。	P.48

各種設定

アプリの設定画面各ボタン機能紹介



機能紹介

1	発信者番号	発信者番号の通知・非通知の選択を行うことができます。	P.37
2	音とバイブの設定ボタン	着信音、タッチ操作音、音量を設定します。	P.38
3	音量の設定	通話音量の設定画面に移ります。	P.40
4	高度な設定	高度な設定については、本マニュアルの「高度な設定画面各ボタン機能紹介」をご覧ください。	P.41 P.42
5	キーボード変更	キーボード背景を変更する場合にチェックします。	—
6	背景画像変更ボタン	背景画像変更画面に移ります。	P.43
7	携帯電話発信ボタン表示	キーボードに携帯電話発信ボタン表示する場合にチェックします。	—
8	他アプリからの発信に対応	他アプリからの発信に対応する場合にチェックします。	—
9	アプリの自動起動	端末起動時に本アプリの起動を行うか場合に値チェックします。	—

各種設定

050番号の発信者番号の通知/非通知を設定する



- 1 アプリの設定の[発信者番号]をタップすると、通知・非通知の設定ダイアログが表示されます。

機能紹介

1	通知	タップすると通知に設定されます。
2	非通知	タップすると非通知に設定されます。

アプリの着信音変更

アプリの着信音を変更する



1

アプリの設定画面にて[音とバイブの設定]をタップします。

機能紹介

1	アプリの着信音設定	アプリの着信音設定画面に移ります。
2	サウンド/バイブ設定	端末の音設定画面に移ります。

アプリの着信音変更

アプリの着信音を変更する



2

[端末の着信音から選択]または[SDカードから選択]をタップすると、着信音の選択画面が表示されます。

機能紹介

1	端末の着信音から選択	端末の「着信音」内音源が着信音として再生されます。
2	SDカードから選択	外部ストレージ(SDカード)にある音源を着信音として再生されます。
3	携帯の設定に合わせる	標準電話アプリに設定された着信音が再生されます。
4	選択着信音	タイトル名を押下すると選択され、音源が再生されます。
5	OKボタン	選択された着信音を登録して「アプリの着信音設定」の画面へ戻ります。
6	キャンセルボタン	「アプリの着信音設定」の画面へ戻ります。

各種設定

050IP電話の通話音量を設定する



1 アプリの設定の[音量の設定]をタップすると、050IP電話の送話音量・受話音量の設定画面が表示されます。

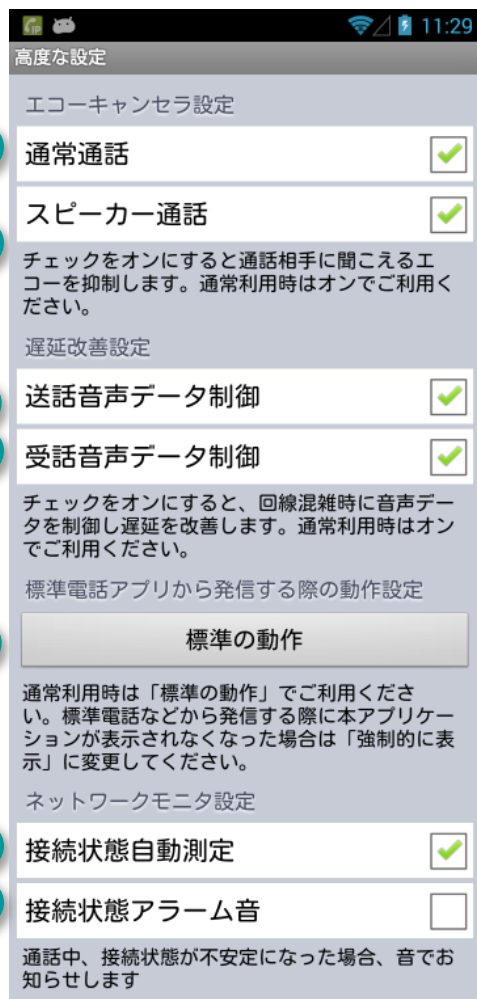
2 [送話音量自動調整]にチェックを入れると、送話音量をアプリが自動調整します。チェックを外すと、手動で送話音量を調整することが可能です。

機能紹介

1	送話音量	送話音量調整スライダーを表示します。
2	受話音量	受話音量調整スライダーを表示します。
3	送話音量調整スライダー	スライダーを動かすと設定値を表示します。スライダーの最小値、最大値はそれぞれ「-12」「+12」です。
4	受話音量調整スライダー	
5	OKボタン	設定値を登録して「音量の設定」の画面へ戻ります。
6	キャンセルボタン	「音量の設定」の画面へ戻ります。

各種設定

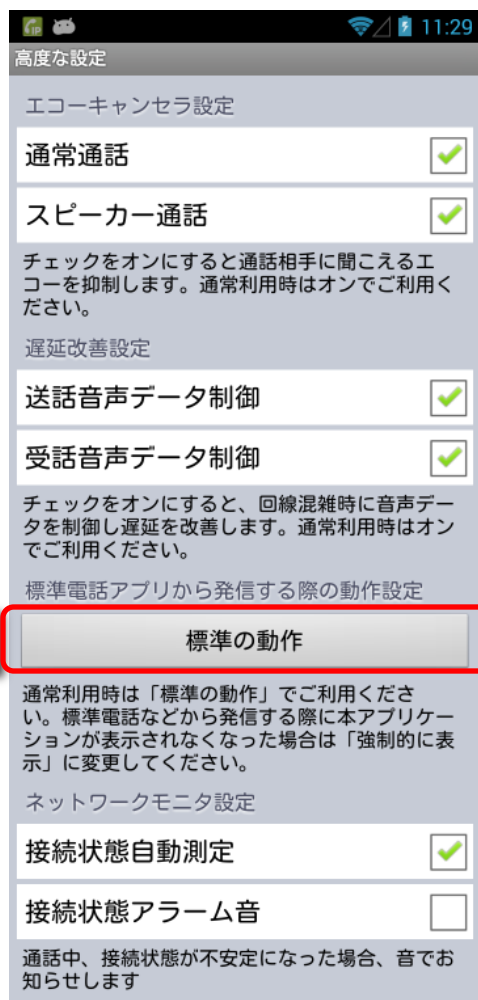
高度な設定画面各ボタン機能紹介



機能紹介			
1	通常通話時エコーキャンセラ設定	チェックONするとエコーキャンセラが有効になります。	—
2	スピーカ通話時エコーキャンセラ設定	チェックONするとエコーキャンセラが有効になります。	—
3	送話音声データ制御	チェックONにすると送話音声データ遅延改善処理を行います。	—
4	受話音声データ制御	チェックONにすると受話音声データ遅延改善処理を行います。	—
5	標準発信アプリからの発信設定	標準の動作	P.42
6	接続状態自動測定	チェックONにすると接続状態の自動測定をします。 接続状態測定機能については、本マニュアルの「接続状態測定」をご覧ください。	P.56
7	接続状態アラーム音	通話中に通話品質アラーム音を鳴動するかを設定できます。	—

各種設定

標準電話アプリからの発信動作を設定する



1

高度な設定画面にて[標準電話アプリから発信する際の動作設定]のボタンをタップすると、動作選択ポップアップが表示されます。

機能紹介

1	標準の動作	携帯電話アプリから発信時、デフォルトに設定されたアプリから発信、または発信するアプリ選択画面が表示されます。
2	強制的に表示	携帯電話アプリから発信時、本アプリからの発信を選択できるようになります。
3	強制的に非表示	携帯電話アプリから発信時、本アプリからの発信の選択画面が表示されないようにします。

各種設定

キーパッド背景を変更する



- 1 アプリの設定の[キーパッド変更]をチェックすると、キーパッド背景変更が可能になります。[背景画像変更]をタップすると背景画像変更設定画面が表示されます。

機能紹介

①	色設定	キーパッドボタン文字色を設定します。
②	透明度設定	キーパッドボタン背景の透明度を設定します。
③	画像選択	キーパッドエリアの背景画像を選択します。
④	トリミング	選択した背景画像のトリミングをします。
⑤	長辺に合わせる	選択した画像の長辺が全て表示されるように設定します。
⑥	短辺に合わせる	選択した画像の短辺が全て表示されるように設定します。
⑦	保存	変更した背景を保存します。
⑧	プレビュー	変更した背景のプレビューを本画面上に表示します。

各種設定

テストコールする

※アカウント設定後にご利用できます。



1 設定一覧画面にて[テストコール]をタップするとテストコール開始画面に移ります。

2 テストコール開始画面にて[発信する]をタップするとテストコール発信します。

機能紹介

1	終了	テストコールを終了します。
2	時間表示	テストコールの通話時間を表示します。

各種設定

アカウント設定する



1

「サービスコード」をタップし、入力後[OK]ボタンをタップします。

サービスコードを入力後、[050番号]、[ユーザID]、[パスワード]が入力可能になります。

各種設定

アカウント設定する



2 「050番号」を入力し、[OK]ボタンをタップします。

3 「ユーザID」を入力し、[OK]ボタンをタップします。

4 「パスワード」を入力し、[OK]ボタンをタップします。

5 アカウント入力に問題がなければ、バックキータップにて本画面を閉じるとアプリは通話可能な接続状態になります。

各種設定

050番号を確認する



1

アプリの設定画面にて[自分の050番号]をタップすると、自端末の050番号表示画面に移ります。

各種設定

バージョン情報を確認する

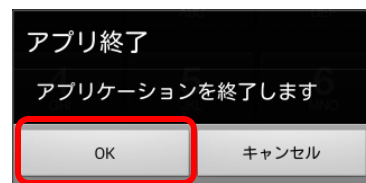
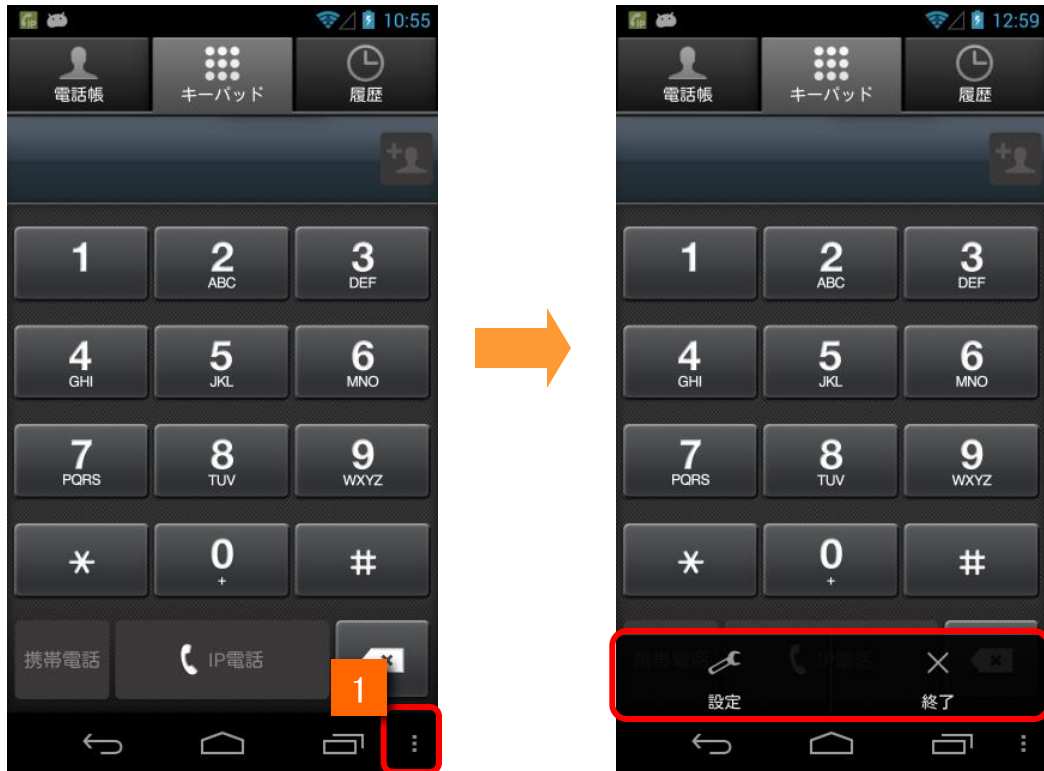


1

[このアプリについて]をタップすると、050IP電話のバージョン画面が表示されます。

各種設定

アプリを終了する



1 キーパッド画面でAndroid端末のメニューボタンをタップするとメニューが表示されます。



2 [終了]をタップするとアプリ終了の確認画面が表示され、[OK]をタップするとアプリを終了します。

設定一覧

デフォルトの通話アプリを設定する

通話アプリのデフォルト設定について説明します。



1 ホーム画面上の  電話アプリをタップし、キーパッドの状態でダイヤルボタンをタップして相手先の電話番号を入力し、 をタップします。

2 アプリケーションを選択ポップアップが表示されますので、本アプリ[050IP電話]をタップします。

3 「常時」をタップします。


設定一覧

アプリをアンインストールする

通常のアプリケーションと同じアンインストール方法で行います。



1

ホーム画面上で、 [設定] ボタンをタップします。

2

設定一覧で「アプリ」をタップします。

3

アプリケー一覧のダウンロードリストから「050IP電話」をタップします。

設定一覧

アプリをアンインストールする



4

[アンインストール]をタップします。

5

アンインストールの確認が表示されます。[OK]をタップします。

通話不可状態からの 手動回復機能

通話不可状態からの手動回復機能

復旧方法

050IP電話を起動した際、認証エラー等で通話不可(赤アイコン)となってしまう場合がありますが、以下の操作を行っていただくことで復旧します。

※端末の電波が不安定な環境にある場合を除きます。

【アイコンをタップして復旧する方法】



1 ステータスバーのアイコンが通話不可(赤アイコン)と表示されていることを確認します。

2 端末のホームボタンをタップし、アプリ一覧画面を表示します。

3 アプリ一覧画面から「050IP電話」をタップします。

4 ステータスバーのアイコンが通話可能(緑アイコン)に変わったことを確認します。

通話不可状態からの手動回復機能

復旧方法

【アプリ内の画面を遷移して復旧する方法】



- 1 ステータスバーのアイコンが通話不可(赤アイコン)と表示されていることを確認します
- 2 アプリ内の別画面に遷移させます。(例:上記画面は設定一覧に遷移させた場合)画面遷移後、再度接続状態(黄色アイコン)に遷移します。
- 3 ステータスバーのアイコンが通話可能(緑アイコン)に変わったことを確認します

接続状態測定

接続状態測定

自動モニタリング

対象の画面*1が表示された際、ネットワークの自動モニタリングが行われます。
アイコンの通知により、発信前にネットワークの状態を確認することができます。

※接続状態自動測定がONの状態である場合に限り（デフォルトON）。接続状態自動測定の変更は、P.41を参照してください。



*1: 対象の画面はタブが表示されている以下の画面です。

- ・電話帳画面
- ・キーパッド画面
- ・履歴画面

接続状態測定

手動モニタリング

接続状態測定をタップすることで、ネットワークの手動モニタリングが行われます。
表示文言、アイコンの通知により、現在のネットワークの状態を確認することができます。
※接続状態自動測定がON・OFFどちらの状態でも確認出来ます。



1

2

【ネットワーク状態:悪】

不安定です

【ネットワーク状態:良】

安定しています

【ネットワーク状態:不明・未取得】

測定中です

【ネットワーク状態:測定終了】

測定を終了しました

1 アプリの設定画面を表示し、[接続状態測定]の項目をタップします。

2 接続状態測定画面が表示され、手動モニタリングを開始します。

接続状態測定

通話中モニタリング

通話中状態になるとネットワークの自動モニタリングが行われます。
表示文言、アイコンの通知により、通話中にネットワークの状態を確認することができます。
※接続状態自動測定がONの状態である場合に限りです。



※接続状態アラーム音がONの状態、通話中ネットワークが不安定になった場合、通知音でも接続状態をお知らせします。

制約事項

制約事項

- 電波状況が悪い場所では、IP電話の通話が不安定になることがあります。音切れ、音声品質の劣化、音声の遅延、通話の終了などが発生します。
- マイクデバイスを使用する他のアプリとの競合により、通話ができない場合があります。この場合、警告画面が表示されます。
- 050IP電話通話時、080/090番号へ着信が入ると、着信音が鳴り、応答／拒否画面に移ります。応答すると050IP電話通話が切断され、080/090番号での通話となります。拒否すると050IP電話通話が継続します。
- 080/090番号での通話中に、050IP電話へ着信が入ると、発信者には通話中を知らせるメッセージが流れ、080/090番号での通話は継続します。
- 050IP電話通話時、080/090番号から発信すると、050IP電話通話は無音となり携帯着信時の「応答/拒否」画面に遷移します。「応答」を選択すると、050IP電話通話が切断され、「拒否」を選択すると050IP電話通話が復帰します。
- 080/090番号での通話中に、050IP電話から発信するとアプリのキーパッドに発信した電話番号が表示され、080/090番号での通話は継続します。

Bluetooth利用時の注意事項

1. Bluetooth機器は下記条件にて利用可能です。

Android OS バージョン	4.4 以上
Bluetooth バージョン	2.0+EDR 以上
対応プロファイル	HSP (HFPIには非対応)

※上記に対応しているBluetooth機器、及びAndroid端末でも、ご利用できない場合があります。
ご利用の際はBluetooth機器やAndroid端末の取り扱い説明書をよく読み、注意事項に従ってください。

2. 下記原因により、音声の途切れやノイズなどで通話が困難になる場合があります。

- ・Bluetooth機器とAndroid端末との相性や距離、遮蔽物の影響
- ・Bluetooth機器やAndroid端末の状態(電池残量が残り少ない状態での利用等)
- ・電波干渉の影響 (Wi-Fi(iEEE802.11b/g)等)

3. Bluetooth機器に搭載されたオンフックボタン等での発着信操作はできません。
発信、着信応答は、Android端末より行ってください。

4. Bluetooth機器での通話 ⇔ Android端末本体のマイク/ヘッドセット(有線)での通話の切り替えができない場合、Bluetooth機器を一度切断し、接続し直してください。
解決しない場合は、再度ペアリングから設定を行ってください。

5.A2DP対応 Bluetooth機器(通話機能付、音楽再生用ヘッドフォン等)についての注意事項

- ・機器によって、着信音の鳴動の仕方が異なる可能性があります。

A2DP対応 Bluetooth機器	本体スピーカー+Bluetooth機器の双方が鳴動する
A2DP非対応 Bluetooth機器	本体スピーカーのみが鳴動する

- ・Bluetooth機器での通話後、音楽再生アプリ等を起動しても音楽を聴くことができなくなった場合、Bluetooth機器を一度切断し、接続し直してください。
解決しない場合は、再度ペアリングから設定を行ってください。

<<参考情報>>

- ・プロファイルとは、Bluetooth機器の種類ごとに機能を標準化した規格のことです
Bluetoothでの通話を実現する場合、Android端末(スマートフォン等)、Bluetooth機器(ヘッドセット等)、
利用するアプリケーションが同一のプロファイルに対応している必要があります

HSP (Headset Profile)

Bluetooth機器と通信を行う規格。モノラル音声の受信、マイクによる双方向通信を可能とする

HFP (Hands-Free Profile)

Bluetooth機器でハンズフリー通話を行う規格。HSPに加えて、発信・着信操作等が可能となる

A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)

音声をレシーバー付きヘッドフォン(またはイヤホン)に伝送するための規格。
HSP/HFPと異なり、ステレオ音声・高音質となるため、音楽、動画等の再生用として利用される

※携帯電話モード発信は端末標準の電話機能を使用するため、端末のBluetooth仕様に準拠します。